

企業調査レポート
(決算速報)

安藤証券株式会社
調査部：土田 陽一
平成 24 年 2 月 3 日

森精機製作所 (6 1 4 1)

業績推移 (連結ベース、単位は E P S、配当が円、他は百万円、予は会社側予想)

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	E P S	配当
10/3	66,402 -57.8%	26,933 -	26,599 -	34,693 -	-	20.00
11/3	120,428 +81.4%	320 -	566 -	1,307 -	11.83	20.00
12/3 予	152,000 +26.2%	6,300 19.7 倍	4,100 7.2 倍	3,900 3.0 倍	35.48	20.00

主要株価指標 (株価、配当利回りのカッコ内は日付)

株 価	連結 P E R	連結 P B R	配当利回り
768 円 (2 / 2)	21.6 倍 (12 / 3 予)	1.0 倍 (11 / 12)	2.6 % (2 / 2)

業績動向

2011年4 - 12月期の連結業績は、欧州向けが減速傾向を示しているものの、タイの復興需要が顕在化したアジアを中心に工作機械の受注が高水準で推移した模様で、10 - 12月期に月平均500台超の生産を実施、売上高は前年同期比40.8%増となった。利益面では、円高の影響や人件費、経費などの増加を増収効果などで吸収、営業損益、経常損益、最終損益とも黒字転換を達成した (営業利益が38億56百万円、経常利益が24億76百万円、当期利益が17億7千万円)。

会社側は2012年3月期通期の業績予想について、2011年4 - 9月期 (中間期) 決算発表時に修正した会社側予想通りに据え置きとした。1 - 3月期の為替相場の前提を1ドル = 75円、1ユーロ = 100円に見直すこと (従来は下期を1ドル = 77円、1ユーロ = 106円) などのマイナス要因が見込まれるものの、高水準の受注残を背景とした増収効果で吸収する見通しとなっている。前述のように欧州向けの受注が減速傾向を示している一方、アジア向けが好調に推移、日本と米国向けも高水準で推移していることから、為替相場次第ではあるが、今期業績は会社側予想水準を確保する可能性が高いものと思われる。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、銘柄の選定、投資判断の最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は、信頼出来ると考えられる情報に基づいて作成されていますが、安藤証券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、今後、予告なく変更される事があります。事前の了承なく複製または転送等行わないようお願いいたします。